

## 第12回WS「象徴天皇の誕生—昭和天皇巡幸記録」上映作品解説

主催：記録映画アーカイブ・プロジェクト（東京大学大学院情報学環丹羽美之研究室）

昭和天皇の巡幸は戦後直ぐの1946年2月より関東周辺から始まり、47年は関西、東北、甲信越、北陸、中国、49年は九州、50年は四国、51年は関西、54年の北海道まで占領下の沖縄を除く全県を9年間かけて巡幸された。（1948, 52, 53年は巡幸がなかった）



愛知県 1946. 10. 22



広島県 1947. 12. 7



滋賀県 1951. 11. 20



北海道 1954. 8. 19

### 1 「湖国巡幸」(26分 1951年11月20日)

当時映画館で上映されたニュース映画を元にして滋賀県向けに編集された短編。各県に行幸したニュース映画は多く残されているが滋賀県版は画質、音声特に良い。

### 2 「港都小樽に両陛下をお迎えして」(6分 1954年8月18日)

全国巡幸の最後となる東北・北海道巡幸。8月6日から21日北海道各地を視察された。交通機関は主に鉄道、自動車、船も利用され、最後は千歳から羽田まで飛行機であった。

### 3 「国民の中の天皇」25分 1951年 日本映画社制作

「日本ニュース」で撮影した行幸記録（1946～51）をベースに当時の学生、学者、一般の人々に天皇についてインタビューした短編。制作当時は朝鮮戦争中で9月にサンフランシスコ講和条約が締結され、翌年4月に占領が終了日本は独立を取り戻した。

### 4 「栄光一行幸啓記録」15分 1958年10月20日電通映画社

1946年から始まった「国民体育大会」に併せて富山国体に出席された翌日、機械メーカー不二越鋼材工業の工場を視察した天皇・皇后の訪問記録。同じ日に訪れた吉田工業黒部工場（YKK）は岩波映画が記録映画を撮っている。

### 登壇者プロフィール

- ・原 武史（放送大学教授・明治学院大学名誉教授）

専門分野は日本政治思想史。著書に『昭和天皇』『皇后考』『可視化された帝国—近代日本の行幸啓』など。

- ・吉見俊哉（東京大学大学院情報学環教授）

専門分野は社会学・文化研究 著書に『都市のドラマトゥルギー』『博覧会の政治学』『ポスト戦後社会』など。

地方名	乗車区間	期日	備考
神奈川	東京→久里浜、久里浜→東京	1946/2/20	
東京	東浅川(廃止)→原宿	1946/3/1	
群馬	原宿→高崎、前橋→原宿	1946/3/25	
埼玉	原宿→熊谷、鴻巣→川口	1946/3/28	
千葉	東京→(上野、松戸経由)→大戸(成田線)、佐原→銚子	1946/6/6	新生駅(貨物駅、廃止)停車の列車内で宿泊
	銚子→(成東経由)→千葉	1946/6/7	
静岡	東京→沼津、沼津→清水	1946/6/17	
	静岡→浜松、浜松→島田、焼津→東京	1946/6/18	
愛知・岐阜	東京→豊橋、豊橋→岡崎	1946/10/21	
	安城→名古屋	1946/10/22	
	名古屋→多治見	1946/10/24	
	大垣→東京	1946/10/26	
茨城	東京→日立、日立→水戸	1946/11/18	
	水戸→石岡、土浦→東京	1946/11/19	
関西	東京→京都	1947/6/4	
	京都→岸辺、岸辺→大阪、大阪→京都	1947/6/6	
	京都→大阪、東岸和田→東和歌山(現:和歌山)	1947/6/7	
	海南→紀伊田辺、紀伊田辺→東和歌山	1947/6/8	
	和歌山市→(五条、王寺、奈良経由)→京都	1947/6/9	
	京都→神戸	1947/6/11	
	姫路→京都	1947/6/13	
	京都→東京	1947/6/15	
東北	東京→湯本(常磐線)、平(現:いわき)→仙台	1947/8/5	
	女川→(石巻、小牛田経由)→陸前古川(現:古川)	1947/8/6	
	石越(東北線)→(黒沢尻(現:北上)経由)→藤根(横黒線、現:北上線)	1947/8/7	
	盛岡→宮古、磯鶏(山田線)→釜石、釜石→盛岡	1947/8/8	釜石線は開通していない
	盛岡→奥中山(現:奥中山高原)、奥中山→尻内(現:八戸)	1947/8/10	
	尻内→青森	1947/8/11	
	弘前→大館→鷹ノ巣、鷹ノ巣→羽後飯塚、羽後飯塚→秋田	1947/8/12	
	秋田→横手→湯沢、湯沢→秋田	1947/8/14	
	秋田→本楯(羽越線)	1947/8/15	
	狩川(陸羽西線)→新庄、新庄→山形	1947/8/16	
	米沢→福島	1947/8/17	
	福島→(郡山経由)→喜多方	1947/8/18	
	郡山→矢吹(東北線)、矢吹→黒磯	1947/8/19	那須御用邸泊
	栃木	黒磯→宇都宮、鹿沼(日光線)→黒磯	1947/9/4
黒磯→石橋、足利→小山、小山→黒磯		1947/9/5	那須御用邸泊
黒磯→宇都宮、宇都宮→日光、日光→黒磯		1947/9/6	那須御用邸泊
甲信越	原宿→軽井沢	1947/10/7	
	軽井沢→(長野、直江津、長岡、新津経由)→新潟	1947/10/8	
	新津→村上	1947/10/9	
	東三条→長岡、長岡→柏崎	1947/10/10	
	柏崎→黒井(信越線)、高田→上田	1947/10/12	
	長野→明科(篠ノ井線)	1947/10/13	
	上諏訪→蕪崎	1947/10/14	
	大月→原宿	1947/10/15	
	東京→(米原経由)→敦賀	1947/10/23	

北陸	小浜→敦賀、敦賀→武生	1947/10/24		
	福井→大聖寺	1947/10/26		
	金沢→和倉(現:和倉温泉)	1947/10/28		
	金沢→高岡	1947/10/30		
	富山→高山、高山→東京	1947/11/2		
中国	東京→京都	1947/11/26		
	二条→鳥取、鳥取→上井(現:倉吉)	1947/11/27		
	上井→下市、下市→米子	1947/11/28		
	大社→(出雲今市、現:出雲市経由)→石見大田(現:大田市)→石見江津(現:江津)、石見江津→浜田	1947/11/30		
	周布→石見益田(現:益田)、石見益田→東萩	1947/12/1		
	萩→正明市(現:長門市)→小串、小串→下関	1947/12/2		
	長府→小野田、西宇部(現:宇部)→三田尻(現:防府)	1947/12/3		
	三田尻→周防富田、徳山→藤生、大竹→宮島口	1947/12/5	宮島口～宮島棧橋までは国鉄の特別船(定期便ではない)。12/7も同。	
	広島→呉、呉→三原	1947/12/7		
	尾道→福山、福山→倉敷	1947/12/8		
	宇野→妹尾(宇野線)	1947/12/9		
	和気→倉敷	1947/12/10		
	倉敷→備中高梁→石蟹(伯備線)、新見→津山、林野(姫新線)→東京(翌日着)	1947/12/11	夜行列車	
	九州	東京→京都	1949/5/17	
		京都→小倉	1949/5/18	
黒崎→直方、飯塚→(原田経由)→二日市		1949/5/20		
東唐津(旧駅)→(伊万里経由)→潜竜(松浦線、現:潜竜ヶ滝)、潜龍→佐世保		1949/5/24		
大村→(諫早経由)→島原(島原鉄道)		1949/5/25	私鉄線路を使うのは唯一	
長崎→(鳥栖経由)→久留米		1949/5/28		
大牟田→熊本		1949/5/29		
宇土→三角		1949/5/30		
八代→水俣、水俣→川内、川内→鹿児島		1949/6/1		
鹿屋(廃止)→志布志、安楽(廃止)→末吉(廃止、志布志線)、末吉→都城、都城→宮崎		1949/6/4		
都農→延岡		1949/6/6		
富高(現:日向市)→幸崎、幸崎→別府		1949/6/7		
別府→中津		1949/6/9		
宇島→行橋、行橋→小倉		1949/6/10		
小倉→京都		1949/6/11		
京都→東京		1949/6/12		
四国		東京→京都	1950/3/12	
	京都→宇野	1950/3/13	宇高連絡船紫雲丸乗船(貸切)	
	伊予三島→土居→新居浜	1950/3/17	香川は車のみ	
	伊予西条→壬生川→桜井→今治、伊予大井(現:大西)→菊間→伊予北条	1950/3/18		
	南郡中(現:伊予市)→伊予長浜→伊予大洲→八幡浜、八幡浜→卯之町→立間	1950/3/20		
	影野→土佐久礼→須崎→西佐川→伊野→高知	1950/3/22		
	牟岐→日和佐	1950/3/25		
	日和佐→桑野→阿波富岡(現:阿南)	1950/3/26		
	鴨島(徳島線)→山瀬→穴吹、穴吹→阿波半田→阿波池田	1950/3/29		
	阿波池田→小松島港	1950/3/30		

	神戸→京都	1950/3/31	
	京都→東京	1950/4/1	
関西 (2回目)	東京→京都	1951/11/11	
	二条→(綾部経由)→東舞鶴、西舞鶴→ 峰山、峰山→天橋立	1951/11/13	
	宮津→綾部、綾部→園部→亀岡→二条	1951/11/14	
	奈良→伊賀上野、柘植→亀山→桑名	1951/11/20	滋賀、奈良は全て車
	六軒→津	1951/11/21	
	津→松阪、松阪→尾鷲、尾鷲→紀伊長島 →三瀬谷→鳥羽	1951/11/22	
	鳥羽→宮川	1951/11/24	
	二見浦→(亀山、名古屋経由)→東京	1951/11/25	
	北海道	黒磯→盛岡	1954/8/6
盛岡→青森		1954/8/7	連絡船洞爺丸乗船(貸切)
函館→大沼(現:大沼公園)		1954/8/8	
大沼→森→八雲→長万部→虻田(現:洞 爺)、伊達紋別→東室蘭		1954/8/9	
登別→苫小牧、苫小牧→追分→夕張		1954/8/10	
岩見沢→美唄→砂川、砂川→滝川→深 川→旭川		1954/8/11	
東旭川→上川→遠軽→留辺蘂→北見		1954/8/12	
北見→美幌→網走		1954/8/13	
網走→斜里(現:知床斜里)→弟子屈 (現:摩周)		1954/8/14	
弟子屈→標茶→(釧路経由)→大楽毛		1954/8/16	
釧路→池田→帯広		1954/8/17	
帯広→新得→富良野、富良野→芦別→ 江別→小樽		1954/8/18	
小樽→倶知安		1954/8/19	
狩太(現:ニセコ)→余市、余市→札幌		1954/8/21	23日に千歳空港→羽田

注:原宿=原宿宮廷駅。経路は停車駅とイコールではない(路線をわかりやすくするために記載)。「→」  
と「→」に挟まれた駅は、駅前の奉迎場に途中下車したケース。